

2026 年 8 月吉日

各研究協力機関 施設長・放射線技術部門長・モダリティ担当責任者 様

【研究代表者】

森ノ宮医療大学 医療技術学部 診療放射線学科 助教 小林 弘幸

【研究分担者】

みなみ野循環器病院 放射線技術部 部長 望月 純二

東京都立大学 健康福祉学部 助教 大平 新吾

兵庫医科大学病院 放射線技術部 係長 桐木 雅人

Dual Energy CT の臨床活用における実態調査（アンケート調査）へのご協力のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より放射線医療の向上および技術発展に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年普及が進む Dual Energy CT (DECT) は臨床分野で不可欠な技術となっていますが、装置の実装方式や解析目的に応じた線量基準 (DRLs) の整備は途上段階にあります。本研究グループでは、全国の臨床現場における DECT 運用実態および線量設定を把握し、将来的な撮影条件標準化に向けた基礎データを構築することを目的として、本アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙の折誠に恐縮ではございますが、本趣旨をご理解いただき、下記要領にてご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 研究題目

Dual Energy CT の臨床活用における実態調査（アンケート調査）

2. 調査目的

日本国内の DECT 保有施設における装置依存性、撮影モード、線量指標 (CTDIvol, DLP) の実態を網羅的に把握し、臨床目的に応じた線量運用の妥当性を検証すること。

3. 入力・ご回答事項

配布の専用 Excel シートを用い、以下の項目をご入力ください。

- ① 装置情報（メーカー、機種名、ソフトウェアバージョン、検出器列数）
- ② 撮影モード・運用パラメータ（使用 kVp ペア、付加フィルタ有無等）
- ③ 代表的臨床領域の線量指標（頭部、胸部、腹部、整形等の標準プロトコルまたは直近 20 症例の平均値）

4. 患者情報の保護およびオプトアウト運用

・本調査で収集するデータは完全に匿名化された施設単位の集計値（標準設定値または統計的平均値）であり、患者個人の識別情報は一切含まれません。

・臨床データ利用に伴う情報公開（オプトアウト）のため、研究代表者が作成した「情報公開文書（ひな形）」を添えて共有いたします。各施設において WEB 掲載や院内掲示等でご活用・周知をお願いいたします。

5. 研究協力費

学術研究を目的とした調査のため、協力費（謝礼）はございません。あらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。

6. 提出書類および提出方法

ご回答を入力した「アンケート Excel ファイル」を、下記提出先メールアドレス宛に電子メールでご提出ください。

本調査の趣旨および研究におけるデータの取扱いをご確認いただき、各施設において必要な倫理審査、研究実施許可その他の院内手続を完了した上で、Excel ファイルをご提出ください。

Excel ファイルの提出をもって、本研究への協力および提出データを本研究の解析に使用することについて、施設として同意いただいたものとみなします。

なお、Excel ファイルの所定欄に、施設名、回答責任者の所属・役職・氏名および提出日をご入力ください。

7. 提出期限

2026 年 9 月 30 日（水）必着

8. 問い合わせ・提出先

森ノ宮医療大学 医療技術学部 診療放射線学科 助教 小林 弘幸

〒559-8611 大阪府大阪市住之江区南港北 1-26-16

TEL: 06-6616-6911（代表） / E-mail: hiroyuki_kobayashi@morinomiya-u.ac.jp

以上